

---

---

# 名取市職員によるエコ通勤 チャレンジデー参加状況調査報告書

---

---

## 1. 調査概要

令和7年4月～令和8年3月(7月除く)に実施した「エコ通勤チャレンジデー」の参加状況を詳細に把握するとともに、その成果・課題を分析し、市民や市内事業者への公共交通利用促進の働きかけ(モビリティ・マネジメント)に活用するためアンケート調査を実施した。

### 【対象職員】

本庁・法務局・保健センター勤務職員(会計年度任用職員を除く)

### 【実施期間】

令和7年4月～令和8年3月(7月除く。毎月給料支給日に実施)

### 【回収数】

アンケート回答者数(延べ人数) 548人



エコ通勤優良事業所

企画部 政策企画課

令和 8年 3月



「自転車通勤推進企業」宣言企業

## 2. エコ通勤チャレンジデー実施概要

### 【背景・目的】

地域公共交通の維持・確保に対する意識の向上及び、市職員の健康増進を図るとともに、公共交通の利用に係る課題や問題点の洗い出しを行い、今後予定している市民や市内事業所への公共交通利用促進の取組(モビリティ・マネジメント)の参考とすることを目的に、市民等に先行して市職員で実施したものを。

### 【対象職員】

本庁・法務局・保健センター勤務職員(会計年度任用職員を除く)

※可能な範囲での協力をお願いしたものであり、こどもの送迎や、身体上の都合等により自家用車でないと通勤が困難な職員を除く。

### 【実施期間】

令和7年4月～令和8年3月(7月除く)の給与支給日

### 【実施方法】

各職場まで自家用車・二輪車以外の交通手段で通勤する。

### 3. エコ通勤チャレンジデーの実施状況及び課題

#### 《実施状況及び課題》

##### ■エコ通勤チャレンジデー参加率:39%

今年度は、毎月の給与支給日を「エコ通勤チャレンジデー実施日」と指定し取り組んだ。  
4半期毎に、任意でのアンケートを取ったところ、延べ回答者数548人に対し、参加者数は214人という結果だった(参加率39%)。

##### ■職員の意識

- ・自転車の利用意向(思う、どちらかと言えば思うの割合):43%
- ・公共交通機関の利用意向(思う、どちらかと言えば思うの割合):31%

##### ■エコ通勤チャレンジデーにかかる交通費負担

昨年度と引き続き、実施した際の運賃に対する補助やインセンティブに関する要望が多かった。

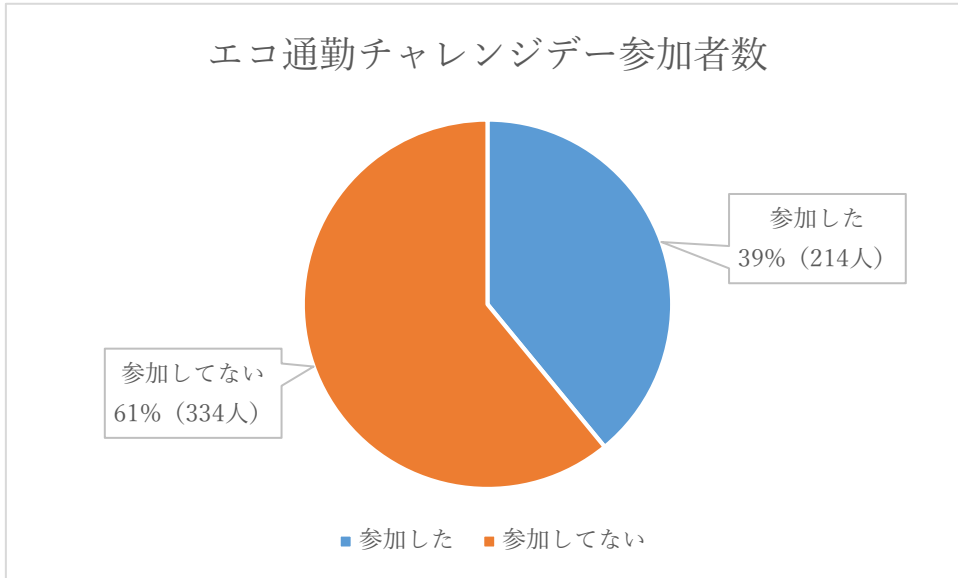
##### ■公共交通機関と勤務時間の不整合

今年度より、試験的に時差出勤制度を導入したことにより、通勤時間帯に合う便が無いことや、乗り継ぎに時間がかかるという問題が一部解消された。

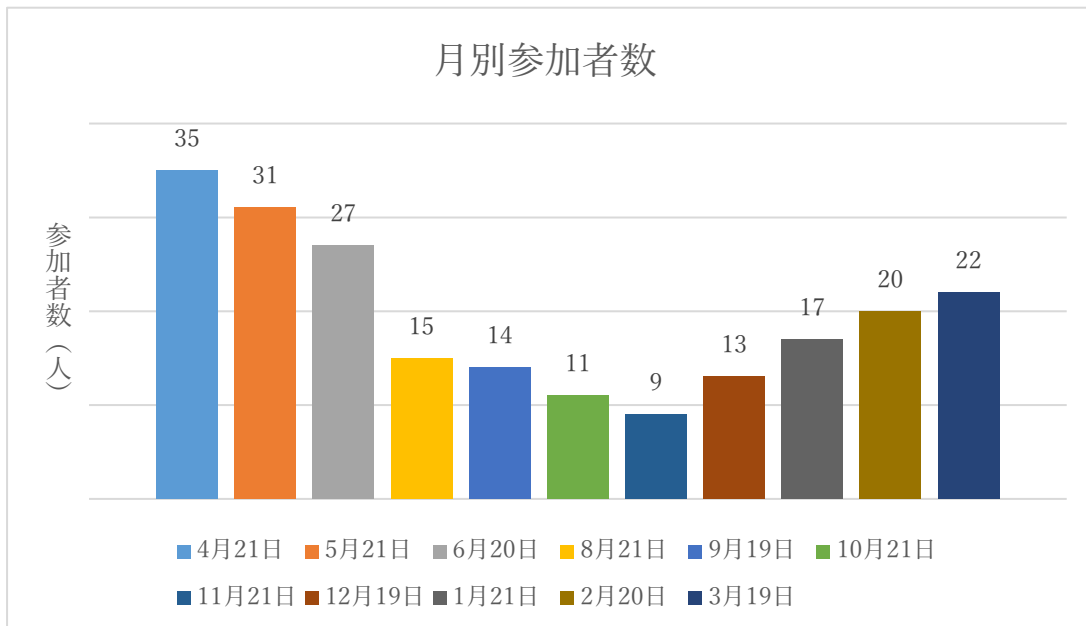
## 4. 参考データ

(1)公共交通通勤チャレンジデーの参加状況について

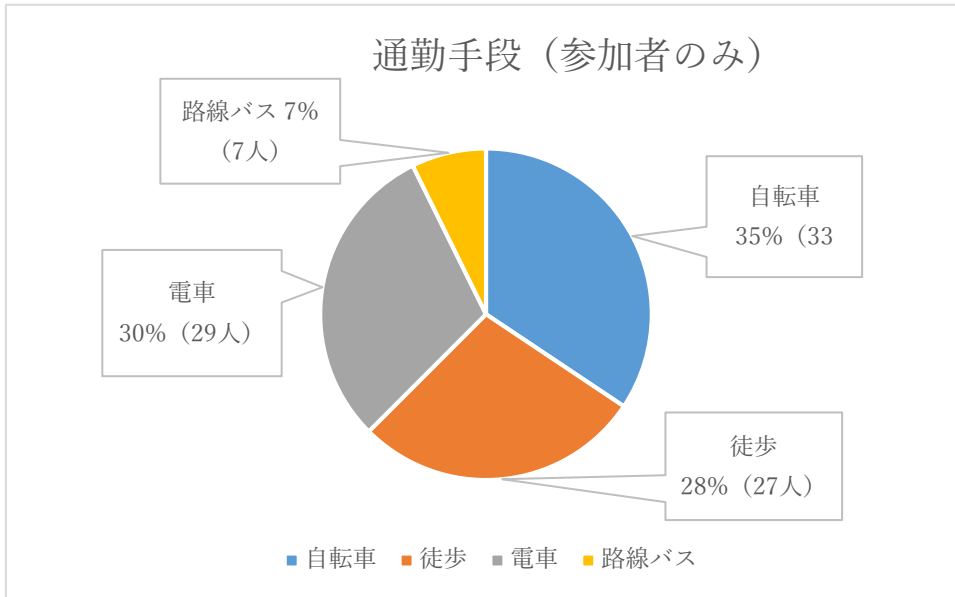
(年間参加状況)



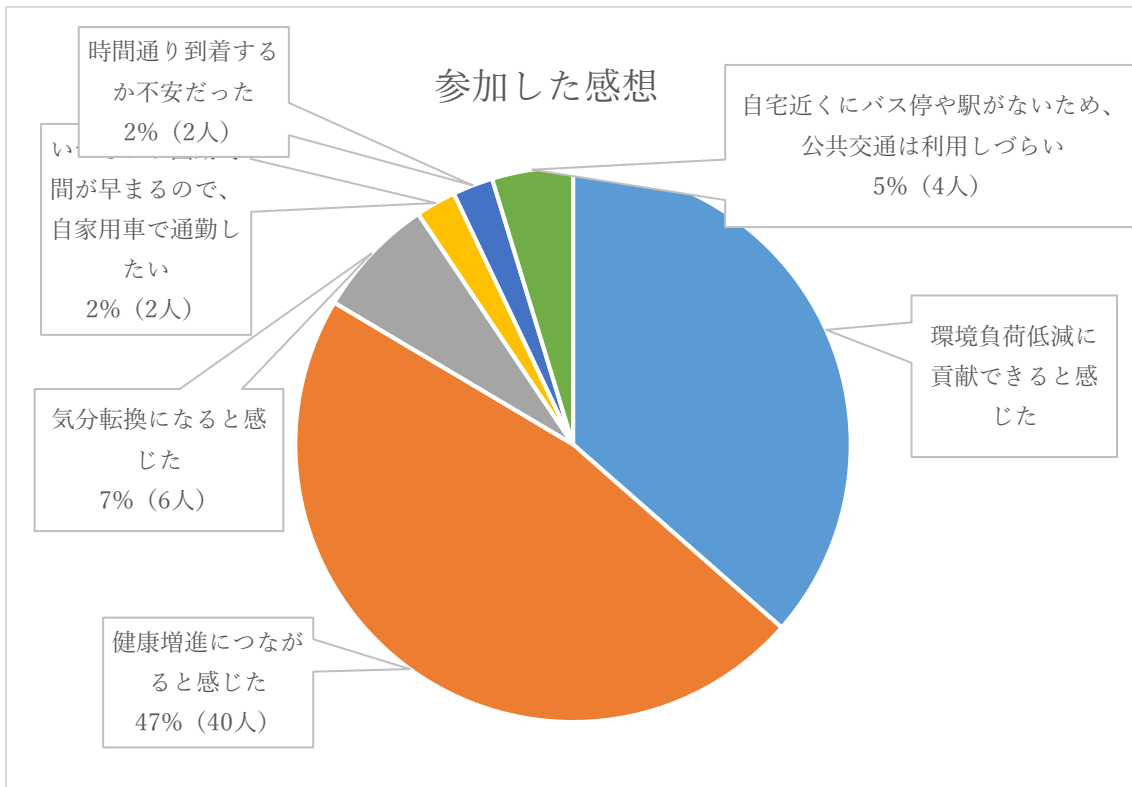
(月別参加状況)



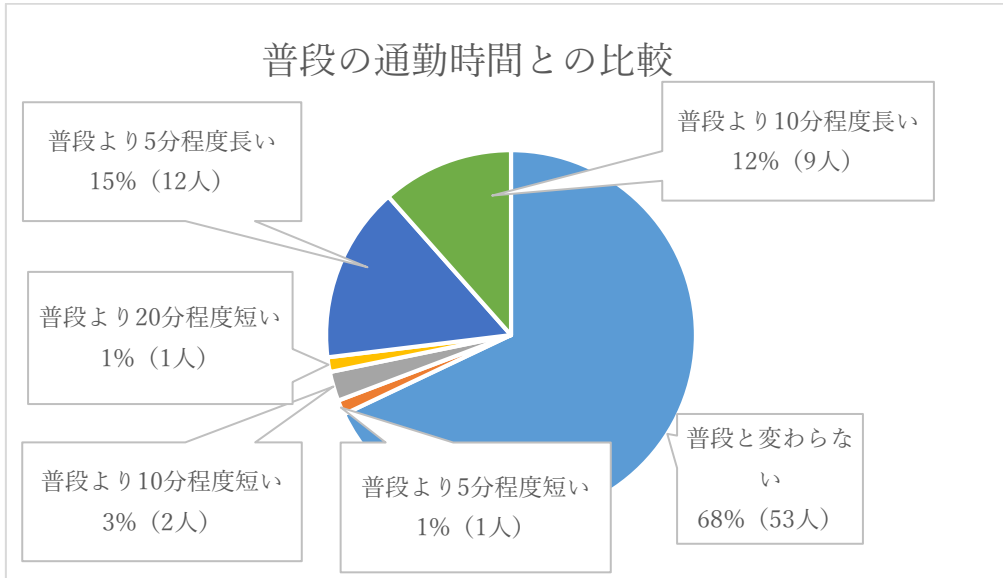
(2)エコ通勤チャレンジデー当日の通勤手段について(参加者のみ)



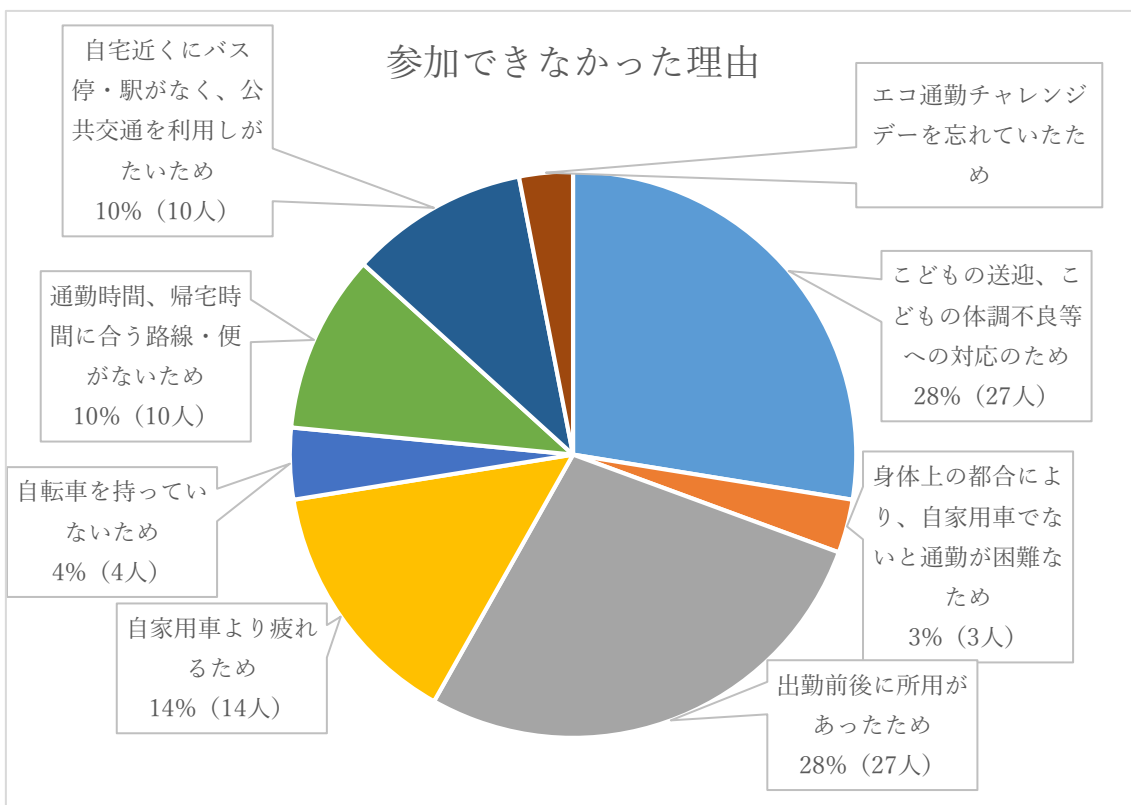
(3)エコ通勤チャレンジデーに参加してみたの感想(参加者のみ)  
(複数回答可)



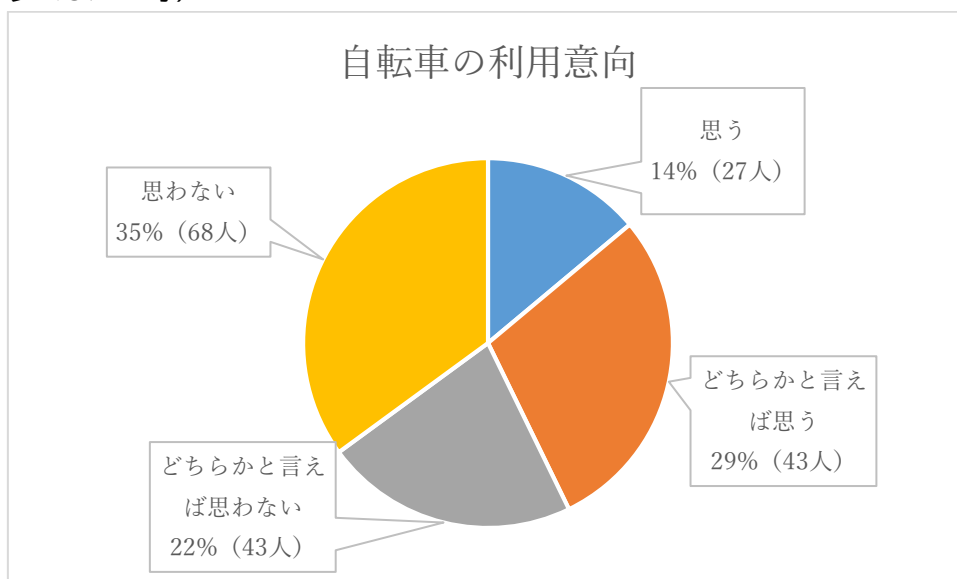
(4) 普段の通勤時間との比較(参加者のみ)



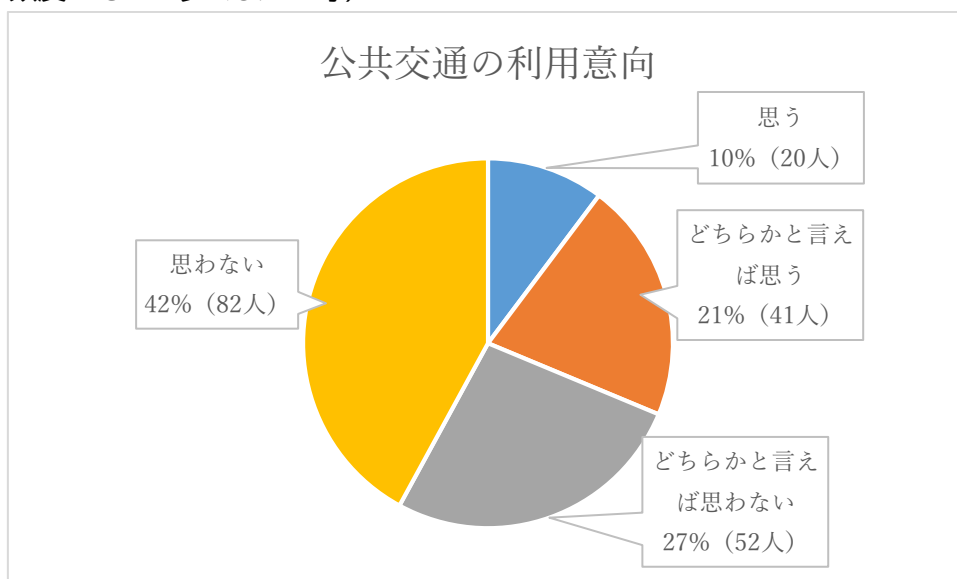
(5) 公共交通通勤チャレンジデーに参加できなかった理由について



(6)自転車の利用意向について(自転車通勤を始めたい、自転車を利用する頻度をもっと多くしたい等)



(7)公共交通機関の利用意向(公共交通機関での通勤を始めたい、公共交通機関の利用頻度をもっと多くしたい等)



(11)公共交通サービスを維持・確保するため、より多くの人に利用してもらえるよう利用促進の取組を行い、みんなで公共交通を支えるという気運を醸成することの重要性について

